

鬼才俳優・佐藤二朗が原作・脚本・監督を手掛け、自らも出演した、映画『はるヲうるひと』。

本作は、佐藤二朗が主宰する演劇ユニット【ちからわざ】で2009年に初演、2014年に再演され演劇界からも絶賛された舞台を映画化した作品。佐藤二朗監督の“想い”の元、集結した豪華キャスト陣。主演に山田孝之、共演には仲里依紗、坂井真紀、向井理など。舞台版からの出演者である、今藤洋子、笹野鈴々音、太田善也、大高洋夫、兎本有紀らも加わり、映画化を望んでいた佐藤二朗が約5年を掛けて完成させた。本作は、2019年度第35回ワルシャワ映画祭の1-2コンペティション部門（長編監督2作目までの部門）への正式出品に続き、2回江陵国際映画祭（2020年11月5-7日開催）にて最優秀脚本賞を受賞致しました。<Gangneung International Film Festival-GIFF 2020 International Feature Competition-Best Screenplay“Brothers in Brothel”> 佐藤二朗監督曰く<<架空の島の売春宿で、生きる手触りが掴めず、死んだ様に生きる男女が、それでも生き抜こうともがく壮絶な闘いのおはなし。>>という本作。その言葉通り、そしてその言葉以上に、監督・キャスト陣が本作に込めたメッセージ=言霊は、間違いなく、観る者の“度肝”を抜き、“心に刺さりまくり”そして、生きる全ての人達に“生きるためのエネルギーを漲らせる”作品になる筈。 <<人はなぜ笑うのか?>>というキーワード/問いの投げかけと共に…

STORY ストーリー

その島は、至るところに「置屋」が点在する。本土からは日に二度連絡船が出ており、客の往来の足となっている。住民たちはこの閉塞された島で一生を過ごす。女は客から「外」の話聞いて思いをはせる。男は、女たちのそんな「夢」を一笑に附して留まらせる。ある置屋にその「三兄妹」はいた。長男の哲雄は店を仕切り、その凶暴凶悪な性格で恐れられている。次男の得太は哲雄にこびへつらい、子分のようにしている。長女のいぶきは、長年の持病を患い床に伏して。ここで働く4人の個性的な遊女たちは、哲雄に支配され、得太をバカにして、いぶきに嫉妬していた。女を売る家で唯一女を売らず、それどころか優遇された箱入り娘。しかも、いぶきはだれよりも美しかった。その美しいいぶきを幼少から見守り寄り添う得太であった…

CAST/STAFF キャスト/スタッフ

山田孝之 仲里依紗 今藤洋子 笹野鈴々音 駒林怜 太田善也 向井理 坂井真紀 佐藤二朗
原作・脚本・監督 佐藤二朗

制作総指揮：吉田尚剛 製作：永森裕二/松井智 プロデューサー：飯塚達介/向井達矢 ラインプロデューサー：尾関玄
キャスティングディレクター：杉野剛 音楽：遠藤浩二 脚本協力：城定秀夫 撮影：神田創 照明：丸山和志
美術：坂本朗 録音：小林武史 編集：難波智佳子 音響効果：柴崎憲治 スタ일리スト：前田勇弥
ヘアメイク：清水美穂 助監督：杉岡知哉 制作担当：中村元 アシスタントプロデューサー：小林有希
制作プロダクション：ラインバック 企画・配給：AMGエンタテインメント 配給協力：REGENTS
製作：「はるヲうるひと」製作委員会（AMGエンタテインメント/ハピネット） ©2020「はるヲうるひと」製作委員会 映画公式HP▶



第2回
江陵国際映画祭
コンペティション部門
最優秀脚本賞受賞

第35回
ワルシャワ国際映画祭
1-2コンペティション部門
正式出品作品



笑え、殺したいほど憎くても。

鬼才・佐藤二朗が放つ
豪華キャスト陣による狂演
これは、映画を越えた魂の記録なのかも知れない

はるヲうるひと

口ケ地巡りMAP



《人はなぜ笑うのか?》 映画「はるヲうるひと」の世界観が息づく ロケ地を巡ろう

今日も美しい夕日が、伊勢湾に沈みます。
道路を一筋入れば劇場で感じたあの感動が!そっとあなたに語り掛ける。
佐藤二郎監督と豪華キャスト陣が、この地で長期ロケに挑んだ作品への
思い入れを訪ねてみませんか?
「台本を読んだとき、ずっと涙が止まらなかった…」
名優・山田孝之の主人公を思う気持ちを、あなたはどこまで受け止められますか。
撮影期間中、監督ですら「傍に近寄ることも出来なかった」と後に云わせた、
この映画への思いと本気が判る象徴的な言葉だった。



- 1 哲雄の自宅 / 永田邸 (美浜町 奥田)
- 2 旧家 / 伊藤邸 (美浜町 野間)
- 3 海辺の土手 / 野間 (崎) 灯台 (美浜町 小野浦)
得太といぶきが佇むシーンの撮影場所。観
光スポットとしても大人気。
- 4 千鳥ヶ町役場 / 内海サービスセンター (南知多町 内海)
原発反対の立て看板を持って抗議デモをする役にエ
キストラ多数参加!

- 5 海辺の施設 / 内海観光センター (南知多町 内海)
日本の渚100選に選ばれた内海海水浴場にある施
設。佐藤監督も若い頃海
水浴に訪れたことがあるス
ポット。
- 6 海辺の施設② / 東浜ビーチハウス (南知多町 内海)
ラストシーンで使用。海水浴シーズンは駐車場やBBQが
できる。
- 7 かげろう / ゲストハウス「とんぱ〜れ」 (南知多町 山海)
メインとなった撮影場所。普段はゲストハウス・屋台ラメ
ンを運営。佐藤監督、キャスト、スタッフに大好評
だった名物の久留米ラーメンをぜひ食べてみて!
- 8 川沿いの道 / 南知多町 山海
- 9 神社 / 日吉神社 (南知多町 山海)
主人公「得太」の苦悩をそっと見守る神社での、名シーンと
なる撮影現場。
「とき」を忘れ
て、得太に心を
寄せてみてはい
かがでしょう。
- 10 船着き場 / 豊丘漁港 (南知多町 豊丘)
閉塞された島の玄関口として
日に二度の連絡船を客引きが
待つシーンを撮影。
- 11 薬局 / 快生薬局 (美浜町 河和)
佐藤監督の熱い想
いで老婆役は地元の方
を起用!
- 12 哲雄の自宅・外観 / 美浜町 河和台
- A グランドホテル山海館
南知多町山海橋詰29-5 TEL.0569-62-0218
佐藤監督を始めとした
キャスト陣が撮影中宿
泊していた施設。天然
温泉と知多の美味し
い料理を堪能できる。

●協力フィルムコミッション 南知多フィルムサポート 公式HP▶

／美浜町フィルムコミッション 公式HP▶